

## 展覧会開催にあたって

本年、東御市梅野記念絵画館は開設20周年を迎えます。これを期に『美に焦がれて』と題し、美術史にその名を残す三人のコレクター、洲之内徹・大川栄二・梅野隆の美術作品蒐集活動の軌跡を辿る展覧会を開催します。

現在、それぞれのコレクションは、所を得て、洲之内コレクションは宮城県立美術館に、大川コレクションは大川氏の故郷・桐生市の大川美術館に、そして梅野コレクションは長野県東御市の梅野記念絵画館に収蔵されています。

強烈な個性と透徹した審美眼を持つ三人の傑物によって蒐集された作品群を通覧され、伝説的とも言えるそのコレクションの充実ぶりを実感していただきます。三人のコレクターが日本中に美術愛好家を育て、広めたことの多大な貢献をこの展覧会を通じて見ていただきます。コレクターもこれからの日本の美術文化を育て、美術史の隙間を埋めていくこととなります。このたび、叶わぬ夢の企画と想っていたこの展覧会が実現の運びとなりました。ひとえに宮城県美術館、桐生・大川美術館、両館のご理解とご好意に拠るものであります。心から深謝申し上げます。

(東御市梅野記念絵画館)

## 2018年展覧会スケジュール

変更となる場合もございます

	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
大展示室	開館20周年記念 美に焦がれて蒐集もまた芸術である 洲之内徹・大川栄二・梅野隆の眼展			第18回 私の愛する一点展 9/30~1/14			収蔵品整理のため休館		安藤信哉展 2/15~3/31	
小展示室	7/1~9/24			天空の芸術祭 9/30~10/28		戸津圭之介 鍍金新作展 11/3~1/14		市民ギャラリー 2/15~3/31		

## 2018年イベントスケジュール

- 7月1日(日) オープニング講演会【原田 光氏】(要予約)
- 7月28日(土) 木雨忌・開館20周年記念講演会【岡部昌幸氏】(要予約)
- 8月26日(日) マルーシカ朗読会 13:30~(要予約)
- 9月22日(土) 小山菜穂子朗読会 13:30~(要予約)

\*変更となる場合もございます。詳細はお問い合わせください。

## 施設情報、開館案内

東御市梅野記念絵画館 <http://www.umenokinen.com/>  
〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1

TEL0268-61-6161 FAX0268-61-6162 umenokinen@ueda.ne.jp

開館時間 午前9時~午後5時(4時30分迄にご入館ください)


入館料 800円(高校生以上)団体割引700円(15名以上)

身障者割引、学校利用減免、減額制度もあります。

休館日 7月2、9、17、23、30日 8月6、13、20、27日 9月3、10、18日

## アクセス

 **お車** 練馬ICから2.5時間

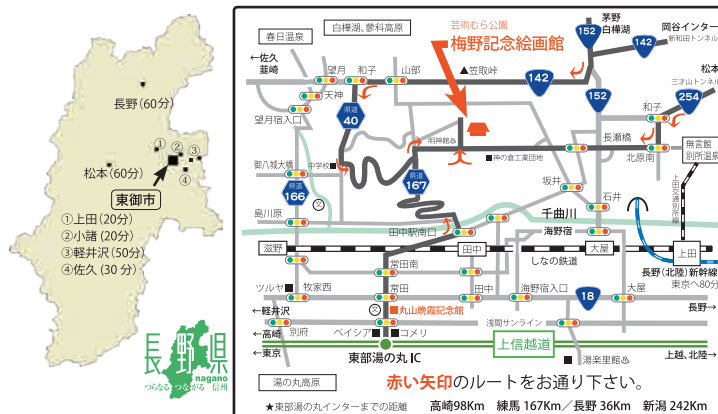
 **鉄道** 東京から最速2時間

◆関東、北陸方面から  
上信越道東部湯の丸インターから15分

しなの鉄道「田中」下車、タクシー15分  
◆関東、北陸方面から  
北陸新幹線「上田」で、しなの鉄道乗換、田中下車。

◆中部、関西方面から  
長野道岡谷インターから新和田トンネル、  
R142号経由で約1時間

◆中部、関西方面から  
特急しなの号利用「篠ノ井」で、しなの鉄道乗換、田中下車



地域の情報をラジオで発信!  
**エフエムとうみ 78.5MHz**

リクエスト、メッセージは  
**m@fomtomi785.jp**

## 開館20周年記念展

美に焦がれて 蒐集もまた芸術である  
洲之内 徹・大川栄二・梅野 隆の眼展

2018年7月1日(日)~9月24日(月・祝)



大川栄二



松本峻介 ニコライ堂の横の道



洲之内 徹



海老原喜之助 ポアソニエール



梅野 隆



作者不詳 西洋婦人

梅野  
記念  
絵画館  
www.umenokinen.com

7月1日(日)オープニング講演(原田光氏)13:30~

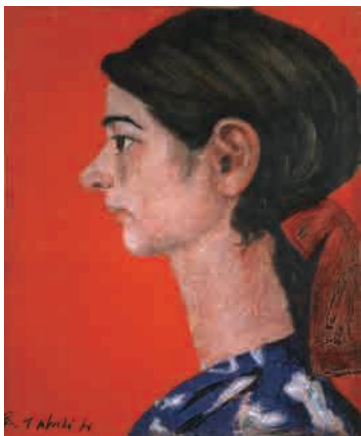
東御市梅野記念絵画館

〒389-0406 長野県東御市八重原935-1 TEL.0268-61-6161 FAX0268-61-6162

洲之内 徹 (1913～1987 年)

愛媛県松山市生まれ。東京美術学校在籍中にマルクス主義に傾倒し、19歳で検挙される。小説家として、横光利一賞候補2回、芥川賞候補に3回挙がった。1961年、「現代画廊」の経営を田村泰次郎から引き継ぐ。画廊主として、無名であつても気に入れば個展の場を提供、佐藤哲三を初めとする多くの画家を発掘した。美術エッセイストとしても名高く「絵の中の散歩」「気まぐれ美術館」などを著す。洲之内の没後、その愛蔵した絵画全点が宮城県美術館に収蔵された。

1987年、74歳で逝去。



林 武 星女嬢

大川栄二 (1924～2008 年)

群馬県桐生市生まれ。実業家。三井物産株式会社勤務を経て急成長期のダイエーの副社長、マルエツの社長に。引退後1988年に故郷の桐生市に「公益財団法人大川美術館」を設立。理事長兼館長に就任。松本俊介、野田英夫を中心に、二人と縁深い鬯光、麻生三郎、難波田龍起、国吉康雄などの若い時期の作品のほか、ピカソ、ルオー、ベン・シャーンなどの西洋画の名品も多い。著書に「美の経済学」「美のジャーナル」「美術館の窓から」など。

2008年、84歳で逝去。



麻生三郎 裸

梅野 隆 (1926～2011 年)

福岡県八女市生まれ。父・満雄は青木繁の親友であり青木作品の散逸を防いだことで名高い。父親の死後、コレクターとして美術品蒐集の道へ。才あれど正当な評価を受けることなく埋没した画家たちの再評価を求める活動に没入。ブリヂストンの役員を60歳で退任、東京の京橋に「美術研究 藝林」を開廊。やがて活動が注目され、退任後、長野県北御牧村（現・東御市）に設立された梅野記念絵画館の館長として迎えらる。コレクションの中から青木繁のデッサンを含む430点を寄贈。2011年、85歳で逝去。



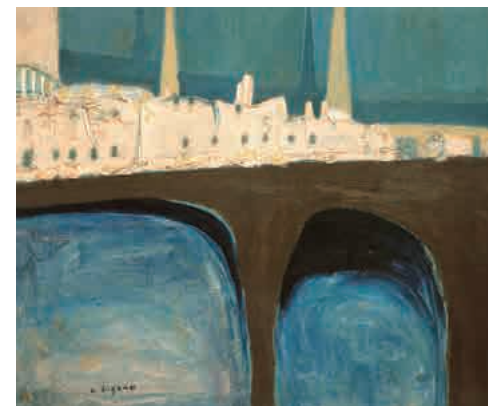
間部時雄 紅葉



鳥海青児 うずら



牧野義雄 霧の中のクロムウエル



菅野圭介 哲学の橋